

# 多機能デジタル置時計

# 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

**▲ 警告 … 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容**

**▲ 注意 … 人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容**



### 〈使用上の警告〉

- 本体を分解・改造しない 製品が破損してけがなどの原因になります。
- 梱包用ポリ袋は、乳幼児の手の届かないようにする 窒息の原因になります。

### 〈乾電池についての警告〉

- ショート・分解・加熱・火に入れるなど絶対にしない 液漏れや発火、破裂の原因になります。
- 乳幼児の手の届かないところに置く 誤飲する原因になります。→万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談する。
- 電池の液が皮膚や衣服についたら、水で洗い流す ケガの原因になります。
- 電池の液が目に入った場合はこすらず、きれいな水で洗い流す 失明の原因になります。→ただちに医師と相談する。
- 乾電池を廃棄及び保存する場合は、テープなどで絶縁し、廃棄の際はお住まいの地域の自治体のルールに従う 他の金属と混ざると、発火・破裂の原因になります。



### 〈使用上の注意〉

- 強いショックを与えない 故障の原因になります。
- 本製品を絶対に分解しない 分解すると精度や機能が低下します。また、ケガをしたり、本製品の故障の原因になります。
- 使用温度範囲外の高温や低温になる場所、浴室など湿気が多い所、ホコリの多い所、窓辺や直射日光にあたる場所、強い磁気の当たる場所、激しい振動のある場所、工場や台所など油分が多く発生する場所、温泉場などガスが発生する場所、温風機などの乾燥した風があたる場所での使用や保管は避ける 変形や変質、故障の原因になります。
- ゴムやビニール系素材に長い間直接触れさせない 色移りや付着、変質の原因になります。
- 包装資材は、お住まいの地域の自治体のルールに従って廃棄してください。

### 〈乾電池についての注意〉

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や破裂による火災・ケガの原因になります。

次のことは必ず守ってください。

- 極性(⊕と⊖の向き)に注意して入れる
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 本製品で指定されている電池以外は使用しない
- 寿命の切れた電池は、すぐに電池ホルダーから外す。表示が薄くなったら、電池を交換してください。故障の原因になります。
- 長時間使用しない場合は電池をはずす 故障の原因になります。
- 電池が液漏れした場合は、液に触れない ケガの原因になります。

### 〈設置場所についての注意〉

- 振動のある場所、不安定な場所に置かない 倒れたり落下してケガや器物破損、故障の原因になります。
- 湿気やほこりの多い場所には置かない 火災の原因になる場合があります。
- 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かない 火災の原因になる場合があります。

## お手入れ方法

- 著しい汚れは、うすめた中性洗剤を浸した柔らかい布をかたくしぼって汚れをふき取り、から拭きをする。
- みがき粉、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変質、変色の原因になります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

## 電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。操作の手順や動作などが、一般の時計製品と異なりますので、この取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願いいたします。

また、本書はお手元に保管してください。

## 標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、2015年4月現在情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。

●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照してください。

情報通信研究機構ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

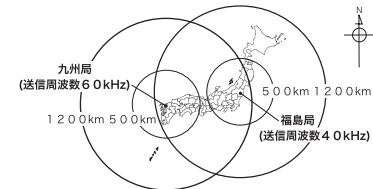
## 日本国外でのご使用について

本品は、日本での標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用してください。

- 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下(ただし、窓際は比較的受信しやすくなります)
  - 山、ビルなどの電波を遮るものの近く
  - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
  - 自動車、電車、飛行機などの中(特に移動中は電波障害が起きやすくなります)
  - 空港、交通量の多い道路の近くや工事現場など電波障害の起きる場所
  - テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明器具の近く
  - 金属面(床や壁)に接して設置した場合
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波受信について

受信が困難な環境下にてご使用になる場合は、内蔵クォーツの精度で作動することになります。

- ・電波受信中は時計を動かさないでください。(受信中に時計を動かすと、受信能力が低下します)
- ・極端に高温や低温のところでは受信能力が低下します。
- ・気象条件、地形、時間帯により、受信能力が制限されることがあります。
- ・受信動作、確認動作を頻繁に行くと電池が消耗します。

## 自動受信について

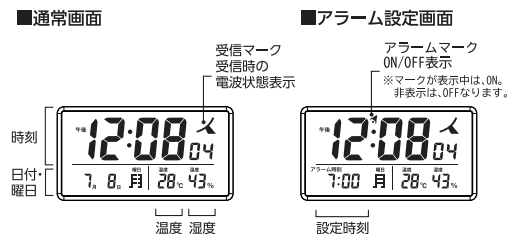
自動受信は1日3回、午前1、2、3時に受信機能が働きます。(天候・環境等により数日間かかる場合もあります。)

※ただし日に1回自動受信に成功した場合は、その日の自動受信は行われません。

## 各部の名称

※図は説明用ですで、実際のものとは異なることがあります。

### 【画面の見方】

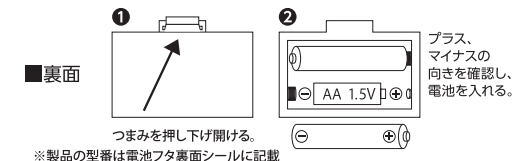


### 【ボタンの使い方】



- A + ボタン: 時刻を合わせる 12時間/24時間切替え
- B 設定ボタン: 通常画面とアラーム設定画面の切替え、時刻修正とアラームの時刻設定時に使用
- C - ボタン: 時刻を合わせる、電波受信
- D アラーム/ON・OFF切替スイッチ
- E スヌーズ/ライトボタン
- F 室内快速度表示

### 【電池の入れ方】



## 使用方法

- 本体裏側のふたのツマミを押し下げ、電池を正しい向きで入れて下さい。  
画面が点滅し、2秒後に時刻が午前12:00と表示されて自動受信が開始されます。  
この時、**▲**マークが点滅します。**▲**マーク下の40k/60k表示は自動的に判断されます。

## 時刻の合わせ方 ※表面の【ボタンの使い方】を参考にしてください。

- 自動受信による時刻修正
  - ① 電波状況によって違いますが、自動受信は5～16分で受信完了します。**▲**マークが表示されます。( **▲**マークが表示されなかった場合は手動による時刻修正を行ってください。自動受信は下記の通り行われます。)  
※窓際に置くと比較的受信しやすくなります。
  - ② 1日3回標準電波の時刻修正を自動的にに行い、時刻の修正を行います。(1日3回、午前1、2、3時に受信)
- 手動による時刻修正(自動受信中は手動での時刻合わせはできません。)
  - ① 設定ボタンを2秒以上押し続けてください。「年」が点滅します。＋/－ボタンで「年」を合わせます。
  - ② 設定ボタンを押すと「年」、「月」、「日」、「時」、「分」の順番で変わって行きます。それぞれを＋/－ボタンで合わせてください。(「秒」について、「分」の設定時、一緒に00にリセットされます。
  - ③ 月日の設定が完了したら、再び設定ボタンを押して終了します。  
※＋ボタンで12時間/24時間の切替が出来ます。(時刻画面が表示されている時)

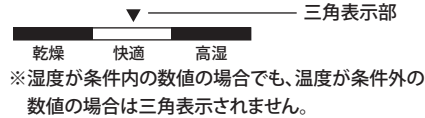
## アラームの設定 ※表面の【ボタンの使い方】を参考にしてください。

- アラームの時刻設定 ※電波の受信中は、アラームの設定ができないのでご注意ください。
  - ① アラームON/OFFスイッチを「アラームON」に切り替えてください。
  - ② 設定ボタンを1回押すと日付曜日がアラーム時刻表示に切り替わります。
  - ③ 設定ボタンを2秒以上押し続けると「時」が点滅します。
  - ④ +/－ボタンで「時」を設定し、設定ボタンを押して「分」を設定します。
  - ⑤ 設定ボタンを押すと、スヌーズ時間が点滅します。スヌーズ時間は5分～60分の間で設定できます。設定が終わりましたら再度設定ボタンを押して終了します。
- アラームのON/OFF設定
  - ・アラームON/OFF切替スイッチを「アラームON」側にスライドさせるとベルマークが表示され、アラームが設定されます。
  - ・アラームはスヌーズボタン以外を押すと、音が止まります。アラームは10秒ごとに4種類のアラーム音に切り換わります。
  - ・アラームが鳴っている時にスヌーズボタンを押すとスヌーズモードとなり、アラームは再び5分後に鳴り始めます。(「時」の右下に「Zz」と表示され、スヌーズボタン以外を押すと解除されます。)
  - ・アラームON/OFF切替スイッチを「OFF」側にスライドすると、ベルマークが消えアラーム設定が解除されます。

## 室内環境表示について

環境表示(参照:右図三角表示部)は下記の条件時に表示されます。

- ・乾燥表示:湿度 $\leq$ 40%
- ・快適表示:25℃ $\geq$ 温度 $\geq$ 18℃ 65% $\geq$ 湿度 $\geq$ 40%
- ・高湿表示:湿度 $\geq$ 70%



## 温度計精度について

温度計測機能:適正計測範囲=10℃～40℃ ※適正範囲を超えると、精度に影響を及ぼす場合がございますのでご理解ください。  
計測精度= $\pm$ 2℃

～温度の表示について～  
温度の表示は内蔵されたセンサーにより、時計内部の温度を表示するものです。その為に急激な温度変化が生じた場合、適正な温度表示をするまで1分以上かかる場合があります。  
※温度表示は10℃未満、40.1℃以上でも温度表示をしますが、本製品の保証外となります。

## こんなときは

1. 電池を入れた後、14分以上たっても正しい時刻を表示しない場合
  - ◎ 電波受信の状態が不調ですので、テレビ、家電機器などから離れた場所(約2m程)等で電池を約1分間外した後、再度セットし本体表示部分が裏面を送信所に向けて窓の近くに置いて一昼夜様子を見てください。
2. 時刻信号をキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻とちがった表示をしている場合
  - ◎ 雷雨等の自然現象や、その他の電波障害により誤った電波信号をキャッチする場合があります。場所を変えて、強制受信をしてください。※電池寿命を迎えている可能性もあります。

3. 時計を海外で使用する場合
  - ◎ 標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので、電波時計としては使用できません。
4. 時刻が表示されない、または薄く表示されている場合
  - ◎ 電池の(+) (-)が間違えてセットされている場合があります。再度ご確認ください。
  - ◎ 電池が寿命を迎えている可能性があります。新しい電池に替えて、入れ直してください。
  - ※液晶画面は見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは液晶ディスプレイの構造によるものです。
5. 受信環境の良い場所が見つからないが、すぐに時計を使用したい場合(受信をさせても受信マークが点灯しない場合)
  - ◎ 手動で時刻を合わせたあと、受信環境が良いと思われる場所に置いてください。自動受信機能によって受信を行いますので、受信環境が良くなれば標準時刻電波をキャッチして、正しい時刻が表示されます。
  - ※受信環境は時刻、周辺の状況、天候により変化します。

## 電池の交換について

電池容量が少なくなると【アラームが鳴らない】【時計が遅れる】といった症状がおき、やがて止まります。このような場合は新しい乾電池に交換してください。  
※充電式電池とリチウム乾電池は、機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。  
※一部の高性能電池では、初期電圧が高いなど、時計には不向きなものがあります。  
※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般的にアルカリ乾電池の方が長持ちします。  
※買い置きした乾電池を使用した場合、乾電池に表示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池の寿命が短くなることがあります。

## 製品仕様

- サ イ ズ : (約)幅17.5×奥行5×高さ12cm
- 重 量 : (約)220g (電池なし)
- 時間精度 : 平均月差 $\pm$ 30秒
- 材 質 : ABS樹脂
- 使用電池 : 単3×2本 (別売)
- 40kHz/60kHz自動切替式自動受信機能 (1日3回 午前1、2、3時)
- 強制受信機能
- 時計機能 (時刻表示)
- 時間表示 : 12時間 (午前・午後) 表示/24時間切替式
- カレンダー表示 (日付・曜日)
- 温度計測機能
- 使用温度範囲 : -9.9～50℃
- 温度表示精度 :  $\pm$ 2℃
- 使用湿度範囲 : 20%～95%
- 湿度表示精度 :  $\pm$ 8% (25℃、20～95%の範囲)

# 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に商品をお持ちになり本書をご提示の上、交換をご依頼ください。

| 品名  | 多機能デジタル置時計 |   | お買い上げ日 |          |   | 保証期間       |
|-----|------------|---|--------|----------|---|------------|
|     |            |   | 年      | 月        | 日 | お買い上げ日より1年 |
| お客様 | ご住所        | 〒 | 販売店    | 住所・店名・電話 |   |            |
|     | 氏名         |   |        |          |   |            |
|     | 電話         |   |        |          |   |            |

- ・保証期間内でも次のような場合には保証対象外となります。
  - (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (2) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (4) 本書のご提示がない場合。
  - (5) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (6) 一般家庭用以外に使用による故障または損傷。
- ・本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- ・本書は日本国内においてのみ有効です。

※この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料交換をお約束するものです。ご記入されたお客様の個人情報、交換の際のみに使用するもので、それ以外には一切使用することはありません。